

# 平成30年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市資源再生センター		
管理者名	環境をサポートする株式会社きらめき	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
担当課	環境部廃棄物対策課		
所在地	新潟市東区下木戸3-4-2		
根拠法令			
設置条例	新潟市資源再生センター条例		
施設概要	飲食用缶の選別施設に併設。 ○全体の敷地面積 約6,452㎡ ○床面積 1,162㎡(啓発部分) + 1,844㎡(見学者通路) ○構造・規模 鉄筋造り・2階建 ○主な施設内容 1階 展示ホール, 事務室, 再生工房 2階 大研修室, 研修室, 実習室, 講座室, 見学者用通路 屋外駐車場 建築年 平成8年3月		

施設設置目的
廃棄物の減量, 再資源化及び再生利用を図り, 快適な生活環境づくりと資源循環型社会の形成に資するため新潟市資源再生センターを設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
(1) 廃棄物の減量, 再資源化及び再生利用に関する啓発 ごみの排出抑制や再利用, 再資源化を柱とした循環型社会の構築に向け, 施設見学やリサイクル啓発事業を実施し, 環境意識の向上を図ること。 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学においては, 特に分別の重要性や再資源化の有用性について情報提供し, 啓発に努める。</li> <li>・リサイクル講座・講演会, 不用品交換会, 展示提供事業を実施し, ごみの減量や再生利用について普及啓発に努める。</li> <li>・大研修室や実習室, 講座室を利用した市民の環境関連活動を支援する。</li> <li>・「新潟市一般廃棄物処理基本計画」など市の施策に積極的に協力し, 計画達成の役割を担う事業を企画運営する。</li> </ul> (2) 利用者が, 清潔で安全かつ快適な施設を利用できるよう努めること。 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設を管理運営する責務を認識し, 市民の平等利用の確保を図る。</li> <li>・利用者の安全確保を最優先とし, 安心の提供及び快適性に重点を置いた管理運営を行う。</li> <li>・利用者からの意見, 要望を反映させた管理運営を行う。</li> <li>・法令の遵守(個人情報保護等)</li> </ul> (3) 利用者の満足度向上を図るとともに, 管理経費の縮減に努めること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページの充実と情報誌年3回以上の発行・チラシ配布の強化	年3回発行	B	
	施設見学者数	施設見学人数、リサイクル展示提供抽選申込み人数、主催事業参加人数の合計が21,600人	22,169人	B	
	利用者の満足度	利用者アンケートで施設上の運営も項目に加えて「概ね満足」以上が90%以上	概ね満足以上が96.1%	A	目標を大きく上回っている。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には3営業日以内に回答	3営業日以内に対応している。	B	
	設置目的に合致した事業の実施	主催事業を160回開催	176回開催	B	
財 務	管理運営経費の縮減	指定管理料に占める事務費の割合をH29実績以下	H29: 6.2% H30: 6.2%	B	
業 務	人員配置計画の妥当性	サービス水準維持のための人員適正配置	計画通り人員を配置	B	
	事件・事故発生時の対応	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	玄関ロティ近くの崩れ等発生時は適正に処置、報告を実施	B	
	個人情報の保護	情報セキュリティ研修を年1回以上の実施、個人情報・守秘義務の対応	随時取扱い、守秘義務の遂行を適正に実施	B	
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	遵守している	B	
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	B	
	職員の能力向上	接遇研修等を複数回実施	研修以外に市内環境啓発活動へ積極的に参加	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

施設見学・一般来館人数合計人数は対目標・対前年実績を上回りました。また、環境啓発講座につきましても対目標・対前年実績を上回ることができました。

フリーマーケットへの来館者数は当日の天候に左右されることが多いため、次年度よりフリーマーケット当日のお客サービスを展開して数字の落ち込みが無いよう努めて参ります。

展示提供につきましては、回収件数・点数は対目標・対前年実績を上回っておりますが、持込み件数・点数はフリマアプリ隆盛等の影響を受け減少しております。

貸室利用につきましては、以前から利用を環境や廃棄物減量に関連する内容に限定されていることがネックになっておりますが、複数の団体様から次年度から利用を考えてみたいとのお申し出をいただいております。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

特にトラブルもなく適正に運営されている。

令和元年度から始まる新たな指定管理期間についても、利用者が増えるよう提案のとおり取り組みを強化していただきたい。